

第160回京都市中小企業経営動向実態調査

貴社の概要を御記入ください。(該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名										
経営形態	法人・個人	資本金				万円	電話			—
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成・令和)					年	従業員数			人(うち非正規人) ※2
※1 業 種	製 造 業 : A 西陣 ・ B 染色 ・ C 印刷 ・ D 窯業 ・ E 化学 ・ F 金属 ・ G 機械 ・ H その他の製造									
	非製造業: I 卸売 ・ J 小売 ・ K 情報通信 ・ L 飲食店、宿泊 ・ M サービス ・ N 建設									
	観光関係の売上: 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 10%以上25%未満 4 0%超10%未満 5 なし 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上の割合を指します。									
主な製品、商品、サービス										
御記入者	部課:		役職:		氏名:					

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 貴社の経営状況についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

期 間		令和8年7～9月の実績 (前年の同期と比較して)			令和8年10～12月の予想 (令和8年7～9月期と比較して)		
項 目		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
貴 社 の 業 況		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
生産加工量・販売量		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
経常利益(税引前)		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
製品・加工単価、販売単価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
仕 入 単 価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
製 品 ・ 商 品 在 庫 量		過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
雇 用 人 員		過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
資 金 繰 り		楽	普 通	苦	楽	普 通	苦
同 業 他 社 と の 競 争		激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受 注 残	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
	生産設備	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
	設備投資	し た	し て い な い		す る	し な い	

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

(令和8年7～9月の実績)

(令和8年10～12月の予想)

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください(複数回答可)。

- 営業力の強化(顧客・市場開拓)
- 生産・経営の合理化
- 人材確保・育成
- 新規産業分野への進出
- 自社ブランドの育成
- 新商品の開発・販売
- 研究開発体制の強化
- 情報収集・分析力の強化
- その他()

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください(複数回答可)。

- 競争激化
- 売上不振
- 人材育成
- 値下要請
- 仕入値上要請
- 原材料(特に)価格上昇
- 金利上昇
- 販売価格安
- 技術力不足
- 後継者問題
- 人手不足
- 人件費増加
- 為替動向
- その他()

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございます。裏面の付帯調査についてもよろしく御願いいたします。

当調査票は、同封の返信用封筒もしくはFAXにて、業務委託先(株)東京商工リサーチ京都支店[FAX:211-4788]へ御返送をお願いします。

なお、調査内容に関するお問い合わせは、依頼文に記載の問合せ先までお電話をお願いいたします。

【付帯調査】取引先・顧客から求められる要件等について

取引先・顧客から求められる要件等についてお尋ねします。以下、A～Fについて、該当するものに○印を付けてください。

A. 近年、取引先や顧客から求められることが増えていると感じるものをお選びください（複数回答可）。

1. 品質やサービス水準の向上	2. 安定した供給・提供体制の整備	3. 情報セキュリティ対策の向上
4. 商品・サービスに関する履歴の管理・情報提供	5. 法令順守・公正な取引への対応	
6. 環境・脱炭素への取組	7. 価格交渉への対応	8. 特になし
9. わからない	10. その他（ ）	

B. 設問Aで選択した事項のうち、特に対応が難しいと感じるものを3つまでお選びください。

【設問Aで「8. 特になし」または「9. わからない」を選択した方は、本設問の回答は不要です。】

1. 品質やサービス水準の向上	2. 安定した供給・提供体制の整備	3. 情報セキュリティ対策の向上
4. 商品・サービスに関する履歴の管理・情報提供	5. 法令順守・公正な取引への対応	
6. 環境・脱炭素への取組	7. 価格交渉への対応（価格転嫁を含む）	8. 特に対応が難しいものはない
9. その他（ ）		

C. 取引先や顧客から品質や納期、履歴、環境対応等に関する情報※の提供を求められた場合の対応状況について、該当するものを1つお選びください。

※ 製造履歴や仕入先情報、品質記録、商品情報、施工記録、業務記録等を含みます。

1. 必要な情報をすべて提供できる	2. 概ね提供できる	3. 一部は提供できるが十分ではない
4. 提供が難しい	5. わからない	6. その他（ ）

D. 自社のビジネス継続のために現在取り組んでいるものをお選びください（複数回答可）。

1. 災害等への備え（事業継続計画〔BCP〕策定等）	2. 仕入先・取引先の複線化や代替ルートの確保	
3. 情報セキュリティ対策	4. 商品・サービスに関する履歴管理	5. デジタル化・自動化の推進
6. 技術・技能の継承	7. 法令改正等の情報収集	8. 省エネ機器など環境保全に資する設備の導入
9. 特に実施していない	10. その他（ ）	

E. 取引先や顧客から求められる要件への対応にあたり、課題となっているものをお選びください（複数回答可）。

1. 設備投資やシステム導入に要する費用	2. 求められる要件や対応方法に関する情報不足	
3. 人材不足	4. デジタル化・自動化の推進	5. 必要な知識や経験の不足
6. 技術・技能の継承や後継者の確保	7. 原材料・エネルギー価格等の高騰による収益圧迫	
8. 特に課題はない	9. その他（ ）	

F. 取引先や顧客から求められる要件への対応力向上に向けて、行政に期待する支援をお選びください（複数回答可）。

1. 設備投資やシステム導入への支援	2. 人材の確保・育成支援	3. デジタル化・自動化支援
4. 情報セキュリティ対策支援	5. 履歴管理・トレーサビリティ対応支援	
6. 事業継続計画（BCP）策定支援	7. 技術・技能の継承や事業承継に関する支援	
8. 環境対応・脱炭素に関する支援	9. 専門家による助言・相談支援	
10. 取引先や顧客から求められる要件等に関する情報提供	11. 特に必要はない	
12. その他（ ）		

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。